

ワイドかつ迫力のあるリアビュー

ダイナミックにアッパーボディを絞り込むことで、リアフェンダーを大きく張り出させ、実際のサイズを感じさせない迫力あるワイド感と、地面を踏みしめる「踏ん張り感」を表現しました。

また、フロントヘッドライト同様に、サイドまで大きく回り込んだリアコンビネーションランプは、さらなるワイド感とフロントからの一体感を強調。ボディの中心部にレイアウトした一本出しのマフラーでリアデザインを引き締めました。



軽快感あるデザインの ロールバー

ロールバーは、ブラックアウトさせて形状を薄く見せることで、オープン時により軽快に感じられるデザインとしました。



エンジンルームの 美しさも追求

エンジンルームの配管、配線を整然とレイアウト。エクステリア、インテリアのみならず、エンジンルームの視覚的な美しさも追い求めました。

